

I 重点的に取り組む主な項目の進捗状況

1 個別支援計画の充実

重心施設、デイサービス、ヘルパー、放課後等デイサービスの各利用者の個別支援計画の作成やモニタリングを上半期、下半期ごとに作成し、ご家族との面談を実施しました。

しかし、意思決定に困難を抱える利用者の個別支援計画が、真にご本人の意思が尊重された計画になっているか職員間で十分な議論を行い見直すことも必要と思われる。

2 職員研修の充実

医療安全、感染予防、褥瘡予防、医薬品・医療機器取り扱い研修などの実施のほか、摂食指導研修や危険予知訓練など法人内研修に延べ 515 名が参加しました。

また、外部研修などに延べ 62 名が参加しました。

3 新規事業の実施

平成 28 年 8 月 1 日付で児童福祉法第 21 条の 5 の 3 第 1 項に規定する指定障害児通所支援事業者の指定を神奈川県から受け、主たる対象は重症心身障害児・定員 5 名の放課後等デイサービス「きゃんばす」を開所しました。

8 月から 166 日開所し、延べ 728 名が利用しました。

II 各部門別事業実施状況

法人事務等

1 理事会・評議員会・評議員選任解任委員会開催状況等

(1) 平成 28 年 5 月 23 日

第 54 回評議員会 (13 名中 12 名出席)

- 議題
- 1 社会福祉法人風祭の森定款の一部変更について
 - 2 社会福祉法人風祭の森太陽の門放課後等デイサービス「きゃんばす」運営規程の制定について
 - 3 社会福祉法人風祭の森管理規程の一部改正について
 - 4 社会福祉法人風祭の森常勤職員及び非常勤職員就業規則の

- 一部改正について
- 5 社会福祉法人風祭の森太陽の門デイサービスセンター(指定生活介護事業)運営規程の一部改正について
 - 6 社会福祉法人風祭の森定款施行細則の一部変更について
 - 7 平成27年度事業報告案
 - 8 平成27年度決算報告案

第75回理事会(6名中5名出席)

議題 第54回評議員会と同じ

(2) 平成28年6月29日

第76回理事会(6名中6名出席)

議題 1 評議員委嘱の同意について

第55回評議員会(13名中13名出席)

議題 1 理事の選任について

2 監事の選任について

第77回理事会(6名中6名出席)

議題 1 理事長の選任(互選)について

2 常務理事の選任同意について

(3) 平成28年11月30日

第56回評議員会(13名中13名出席)

議題 1 社会福祉法人風祭の森定款の変更について

2 社会福祉法人風祭の森評議員選任・解任委員会運営細則の制定について

3 平成28年度上半期事業報告案

4 平成28年度上半期決算報告案

5 足柄上地域での事業計画について

6 平成28年度第一次補正予算案

第78回理事会(6名中4名出席)

議題 1 社会福祉法人風祭の森定款の変更について

2 社会福祉法人風祭の森評議員選任・解任委員会運営細則の制定について

- 3 評議員選任・解任委員の選任について
- 4 評議員候補者の推薦について
- 5 平成 28 年度上半期事業報告案
- 6 平成 28 年度上半期決算報告案
- 7 足柄上地域での事業計画について
- 8 平成 28 年度第一次補正予算案

(4) 平成 29 年 2 月 24 日

第 79 回理事会 (6 名中 6 名出席)

- 議題 1 社会福祉法人風祭の森評議員選任・解任委員会運営細則の制定について
- 2 評議員選任・解任委員の選任について
 - 3 評議員選任候補者の推薦について
 - 4 評議員選任・解任委員会召集について

(5) 平成 29 年 3 月 3 日

第 1 回評議員選任・解任委員会 (3 名中 3 名出席)

- 議題 1 評議員の選任について

(6) 平成 29 年 3 月 24 日

第 57 回評議員会 (13 名中 13 名出席)

- 議題 1 社会福祉法人風祭の森育児・介護休業規程の一部改正について
- 2 平成 29 年度事業計画案
 - 3 平成 29 年度予算案

第 80 回理事会 (6 名中 6 名出席)

議題 第 57 回評議員会と同じ

2 監事監査 (2 回実施)

平成 28 年 5 月 17 日 指摘事項なし

平成 28 年 11 月 24 日 指摘事項なし

3 評議員選任解任委員 (3 名) の選任

渡辺 貞 (外部委員) 鳥居 富郎 (事務局員) 岡崎 良信 (監事)

任期 (平成 29 年 2 月 24 日～定時評議員会終了まで)

4 評議員の退任

改正社会福祉法により、現評議員の任期は、平成29年3月31日までとなったことによって、全員が退任となった。

なお、平成29年3月3日に行われた評議員選任・解任委員会において選任された評議員が平成29年4月1日から4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで就任する。

5 基本財産（土地）の取得

新事業所開設に伴う基本財産（土地）を購入

住所：足柄上郡開成町延沢字中川原823-1 他6筆

面積：853.94平方メートル

購入額：50,000,000円

6 定款変更申請

平成28年8月31日申請 9月6日認可

申請先：小田原市

変更内容：事業内容で「相談支援事業」を「特定相談事業」と「障害児相談支援事業」に分け、新たに「障害児通所支援事業」を追加した。

平成29年1月5日申請 1月5日申請、1月18日認可

申請先：小田原市

変更内容：改正社会福祉法に伴う変更

7 法人登記変更申請

(1) 資産総額の変更登記 (5月27日)

8 医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査

平成28年9月26日実施（小田原保健福祉事務所）

指摘事項 看護師数について、法令で定められている員数を充足していませんので、改善してください。（標準員数17人、現員数15人）

要望事項 部屋の出入りの際、アルコールによる手指消毒を徹底することが望まれる等5点の要望があった。

9 職員の状況

(1) 入・退職状況

入職者 医師1名 理学療法士1名 検査技師1名 看護師4名 介護士6名
相談員1名 デイ介護士2名 地域拠点看護師2名 放デイ介護士
1名 ランドリー作業員1名 (計20名)

退職者 作業療法士1名 検査技師1名 看護師1名 介護士7名 デイ介護
士3名 登録ヘルパー1名 ランドリー作業員1名 (計15名)

(2) 職員配置状況 (平成29年4月1日現在)

・施設部	常勤 47名	非常勤 18名	嘱託 2名	計 67名
・地域支援部	常勤 15名	非常勤 5名	嘱託等 6名	計 26名
・事務部	常勤 5名	非常勤 5名	嘱託 1名	計 11名
・合計	常勤 67名	非常勤 28名	嘱託等 9名	計 104名

(3) 職員求人状況等

- ・求人方法 ハローワーク登録、eナースステーション登録、ネット・雑誌広告・新聞折込広告掲載1回、県理学療法士会 HP、国際福祉大学、人材紹介事業者13社等
- ・面接人数 レントゲン技師1名、理学療法士1名、作業療法士1名、看護師6名、介護士11名、相談員1名、ランドリー作業員1名

10 施設設備等の整備・保全

- ・日常清掃業務
- ・特別清掃業務(床面ワックス塗布、厨房内清掃等)
- ・保守点検業務(エレベーター、自動ドア、ボイラー等)
- ・排水管洗浄
- ・入所者送迎用車両購入
- ・オートクレーブ(蒸気滅菌器)購入
- ・医用テレメータ購入
- ・デイサービス機械浴槽更新
- ・レントゲン設備スポット点検
- ・玄関前エントランス改修工事
- ・ランドリーガス乾燥機修理
- ・非常照明バッテリー交換
- ・電話交換機修理
- ・ボイラー修理

- ・給湯器用加圧給水ポンプ交換
- ・エアコン室外機修理
- ・エアコン室内機修理
- ・重心施設南側ホールガラス交換
- ・厨房スチームコンベクションオープン交換
- ・ガスヒートポンプ室外機室外機修理
- ・ガスメーター3台交換
- ・リハビリセンターロールスクリーン交換
- ・汚物除去機入替工事
- ・重心施設利用者用機械浴槽修理
- ・ランドリー業務用乾燥機、洗濯機入替工事
- ・デイサービス機械浴槽更新
- ・重心施設利用者送迎用車両更新
- ・施設内クロス張替工事
- ・施設周辺草刈等環境整備

重症心身障害者施設

- 1 利用者の在籍状況等について（平成29年4月1日現在）
 - (1) 長期入所者 44名（超重心1名、準超重心8名、その他35名）
 - (2) 中期入所者 在宅重心児者が1か月程度の範囲で利用
実人員15名 利用延べ日数1,301日（前年比108.8%）
 - (3) 短期入所者 在宅重心児者が休養等様々なで利用
実人員31名 利用延べ日数481日（前年比114.3%）

平成28年度は、3名が死亡により退所し、3名が入所となりました。
中期・短期入所利用延べ日数は1,782日で、前年比110.2%となり、前年同様在宅者支援に努めてきました。

- 2 利用者の健康管理について
 - (1) 健康診断など

日々の検温の他、排泄や食事量のチェックのほかに、定期的な血圧や体重の測定、血液・脳波・レントゲン検査を実施し、利用者の健康管理に努めています。

(2) 通院等

小田原市立病院（耳鼻科、泌尿器科、整形外科、婦人科、外科、眼科）、山近病院（循環器科）、藤沢市民病院（眼科）、永井産婦人科、戸沢皮膚科など他院通院は延べ 50 名で、専門医療の受診を行っています。

歯科については、毎週の訪問歯科で検診や歯石除去、軽微な治療を実施し、438 名が受診しました。また、小田原二次歯科での治療や検査のため延べ 18 名が受診しました。

3 利用者の生活支援について

(1) 支援体制

医師、生活支援員、看護師による日々の申し送りや連絡、必要に応じてリハビリスタッフや栄養士などを交えた検討を行い、福祉と医療が連携した総合的な支援を行っています。

平成 26 年 10 月より月 1 回外部講師を招いての摂食指導研修を実施し、毎月 3 名ずつの摂食について、食事形態、姿勢、介助方法などのアドバイスをいただくとともに、医師、看護師、リハビリスタッフとともにカンファレンスを実施し、具体的な改善策を検討しています。

(2) 個別支援計画

生活支援、看護、リハビリ、栄養の各分野から年度における支援計画を立案し、家族・後見人に対して個々に面談の場を設け、意見交換を実施して双方の合意を得た支援計画を立てました。

また、利用者の状況の変化に応じた計画の見直しや半年を経た評価会議（モニタリング）を実施しました。

(3) 日中活動

主な活動としては、手遊び、歌遊び、光遊び、シーツブランコ、マッサージ、アロマセラピー、月案作り、散歩など、スタッフが創意工夫をした活動に努めました。

また、ボランティアによる音楽や紙芝居、アニマルセラピーなどを実施し日々の生活に変化を与えるよう心がけました

活動の際には、個々の利用者の笑顔の写真を撮り、スタッフのメッセージを添えて、家族や後見人にお渡ししています。

(4) 行事等

毎月の誕生会、端午の節句、七夕祭り、プール遊び、カキ氷・焼きいも

大会、ハロウィン、クリスマス、お正月、節分、ひな祭りなどの行事を行い、季節感を味わっていただきました。

また、毎月「替り風呂」を行い、緑茶、ほうじ茶、紅茶や金柑、みかん、りんご湯などの他、バラの湯など楽しい入浴を行い、いつもより多くの笑顔がみられました。

(5) 外出

利用者個々の目的に応じた外出も実施しました。

- ・ 風祭自治会盆踊り 参加人数 6 名
- ・ 箱根病院花火大会 参加人数 6 名
- ・ 小田原市役所コンサート 参加回数 8 回、参加人数 17 名
- ・ 国際医療福祉大学祭 参加人数 8 名
- ・ 春の散歩週間（4～5月） 実施回数 5 回、参加人数 22 名
- ・ 個別外出 実施回数 24 回、参加人数 65 名

《主な外出先》

一夜城公園、小田原シティモール、小田原市フラワーガーデン、小田原駅、西武デパート、ガラスの森美術館、箱根芦ノ湖、小田原球場、えれんなごっそ、駿河ドライブイン、精陽学園、箱根湯本駅、箱根園、西湘パーキング、開成あじさい祭等

(6) 家族室を利用した小集団の活動

食事やデザート喫食、光遊びやミニコンサートなどを3～4人の小集団でのお楽しみ会を実施しました。ご家族が参加される時もあり、アットホームな余暇活動を実施しました。

リハビリセンター

1 リハビリ外来

リハビリ外来利用者は、理学療法に70名（6歳未満3名、18歳未満35名、18歳以上32名）、作業療法に68名（6歳未満5名、18歳未満43名、18歳以上20名）が受診しています。新規受け入れは、理学療法4名、作業療法3名となっています。

前年同期と比較すると、理学療法は3095単位から2916単位、作業療法は3163

単位から 3036 単位に減少しています。

実習生の受け入れについては、OT・PT 養成の一助となるよう可能な範囲で受け入れてきました。(4校 25名・見学実習含む)

学校や施設職員などの見学も随時受け入れ、外来の様子などを通して情報交換を行うなど、関係機関との連携に努めてきました。(26名)

月2回のリハビリ会議には相談員も出席しており、外来利用者を中心とした西湘地区の重症心身障害児者について報告・相談し連携を図ってきました。

デイサービス利用者についても地域支援スタッフ及び相談員と連携し、摂食やボジショニング等について実際に現場(現状)を確認しながら、随時対応してきました。

また重心訪問事業は今年度6件の予定であったが、利用者の体調不良等のために4件実施しました。

2 入所者へのリハビリ

前年同期と比較すると、理学療法は常勤職員が1名(1月まで)のため、主に入所者への介入頻度を制限せざるを得ない状況であったが、昨年度と比較すると498単位から656単位と増加はしている状況であったが、個別介入の頻度は確保できていないため入所スタッフからの相談や評価を適宜行うことで対応しました。

作業療法は2277単位から1811単位に前年度ほどは確保出来ていない。そこで介入時間の確保のため1週間の入所リハ予定を前週に事前連絡し、朝礼でも当日の予定を確認するなど連携に努めました。

また、部署内にてカンファレンスを月2~3回の頻度で定期的を実施し、現在のリハビリ状況や今後の課題及び検討事項についてスタッフ間の情報共有に努めてきました。その結果を踏まえ個別支援モニタリングに参加出来たため、短時間でも有意義な意見交換が行えました。

月1回開催されている摂食指導講習会にも参加し、利用者様の食事の状況把握・意見交換に努めました。

地域支援事業

デイサービスセンター

1 利用者の状況について

デイサービス利用者は、重心者と身障者に大別されます。平成28年度の重心者の新規登録は2名ありましたが、5名の方が施設入所や死亡のため登録解除となり年度末では重心者は20名の登録となっています。また、身障者では、1名の新規登録

があり年度末では13名となっています。

2 個別支援計画の充実

上半期は9月、下半期は3月に最終評価をするとともに、必要に応じてデイサービス、ヘルパーステーション、相談室の職員合同でカンファレンスを行ない、個別支援計画書を作成し、利用者および利用者家族と個別面談を実施いたしました。

3 日中活動の充実

(1) 重症心身障害児者と身体障害者の活動フロアを分けて、障害特性に応じた活動を行なっています。陶芸、園芸、スポーツ、製作活動、メイキャップの5つの活動を実施しました。

- ・陶芸 28回実施 参加延べ数 367名
- ・園芸 30回実施 参加延べ数 393名
- ・スポーツ 32回実施 参加延べ数 419名
- ・メイキャップ 28回実施 参加延べ数 58名
- ・製作活動 ひまわり、紅葉、虹、気球、クリスマス、正月、ひな祭り、桜などを題材に壁面製作を行ない、季節感豊かな雰囲気を楽しみました。
- ・季節行事
かき氷 8月にかき氷週間として実施 参加 69名
焼き芋 11月に焼き芋週間として実施 参加 62名
クリスマス 12月にクリスマス週間として実施 参加 76名

4 デイサービス利用実績

上半期

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数	21日	19日	22日	21日	22日	22日
延べ利用者数	288人	237人	294人	283人	272人	301人
利用者数/日	13.7人	12.5人	13.4人	13.5人	12.4人	13.7人
登録者数	36名	36名	36名	36名	35名	35名

下半期

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21日	20日	19日	20日	20日	23日	計 250日
延べ利用者数	276人	208人	283人	276人	255人	301人	計 3274人
利用者数/日	13.1人	10.4人	14.9人	13.8人	12.8人	13.1人	平均 13.1人
登録者数	35名	36名	36名	35名	33名	33名	平均 35.1名

ヘルパーステーション

1 ヘルパーの活動実績について

- (1) 居宅介護サービスなどのサービスを提供している障害児者は 51 名であり、そのうち 11 名は、今年度新たに契約を結び、サービスを提供しました。
- (2) 居宅介護事業では、昨年度の 1888.5 時間から今年度は 1928.5 時間と 40 時間増となっています。新規利用者のサービス提供や退院後のサービス再開などが増加要因と考えられます。
- (3) 移動支援事業は昨年度の 1954 時間から今年度は 1154 時間と 800 時間減少しています。利用者からの指名のあった派遣ヘルパーの人事異動に伴う利用キャンセル等が減少の理由となっています。
- (4) 同行援護サービスでは、昨年度の 258.5 時間から今年度の 264.5 時間と 6 時間増となっています。
- (5) 日中一時は、昨年度の 28 回から今年度は 45 回と 17 回増加しました。
- (6) 福祉有償運送は、回数は昨年度 604 回から今年度は 683 回と 59 回利用回数が増加しました。内訳としては、移動支援での利用が多く見られました。

2 障害福祉サービス地域拠点事業

居宅介護の拠点事業所である太陽の門ヘルパーステーションとして、県西圏域の各市町で支援の中核を担う居宅介護事業者メンバーで構成した「あんしんヘルパーネット」を設定し、あんしんヘルパーネット会議を開催しました。

平成 28 年 7 月 5 日 第 3 回あんしんヘルパーネット会議 参加者 23 名

各市町村、事業所で課題となっている項目（社会資源及び人材の不足、他職種連携など）について、グループワークをおこない、課題の整理と解決策について意見交換をおこないました。

平成 28 年 10 月 19 日 第 4 回あんしんヘルパーネット会議 参加者 32 名

第 3 回の会議で挙げた「介護保険と障害福祉サービスの違い」について、講義や実践現場からの報告などがあり、相互理解を深めました。

平成 29 年 3 月 13 日 第 5 回あんしんヘルパーネット会議 参加者 31 名

今年度の会議で挙げていた県西圏域の地域課題（社会資源及び人材不足、他職種連携など）について整理をおこない、自分たちが明日か

ら取り組めるための意見交換をおこないました。

3 個別支援計画の充実

ア ケアカンファレンスの実施

上半期は9月、下半期は3月には最終評価を行ないました。ケアカンファレンスは必要に応じてデイサービス、相談員と情報交換など連携をとり、おこないました。

イ 利用者面談の実施

ヘルパーサービス利用者に対し事前に訪問し、主治医からの診療情報提供書および、お薬手帳等の情報及び利用者ニーズの再確認を行ないました。その内容を基に個別支援計画（案）を作成しました。

相 談 室

(1) 障害児者の障害福祉サービス提供にかかる計画相談

平成24年4月に特定相談支援事業及び障害児相談支援事業の指定を受け、在宅及び入所中の障害児者に対して、計画相談支援・モニタリングを実施し、平成28年3月末現在、120名と契約しています（内訳：在宅69名・入所51名）

計画相談支援・モニタリングの実施にともない、利用者の状況把握や必要な支援の提案、見直しを行い、利用者が安定して在宅生活を継続できるよう支援しています。また支援者側とは利用者に関する情報共有・意見交換を行うことで更なる連携を図れるよう取り組みました。

<障害福祉サービス計画相談支援・モニタリング実績>

平成28年度上半期

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
計画相談支援	2件	4件	12件	5件	11件	10件
モニタリング	10件	10件	16件	8件	30件	21件
合計	12件	14件	28件	13件	41件	31件

平成28年度下半期

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画相談支援	4件	6件	3件	5件	2件	4件	68件
モニタリング	10件	19件	9件	11件	16件	44件	204件
合計	14件	25件	12件	16件	18件	48件	272件

(2) 出張相談の協力（綾瀬市より受託）

平成 27 年 4 月より、月 4 回～5 回（毎週木曜日）、綾瀬市の在宅福祉相談室の出張相談を行っています。計画相談におけるセルフプランの補助、また在宅の身体障害者の医療、福祉サービス等の調整、福祉用具・住宅整備等の支援など、福祉に関するあらゆる諸問題について対応しています。

(3) 自立支援協議会

神奈川県西障害保健福祉圏域自立支援協議会の『重心部会』の活動内容を『サービス事業所連絡会』（以下、「連絡会」）が引き継ぎ、連絡会の構成メンバーは身体障害、知的障害、精神障害、障害児、重症心身障害児者の主たるサービス事業所が集まり、障害種別を問わず、地域の課題解決に向け協議できる体制となりました。

「まいらいふブック」の普及についても、障害種別を問わず、県西圏域の障害児者が利用できるよう、普及を進めております。また、保護者会、教育機関、福祉サービス事業所等に出向き、「まいらいふブック」の説明を行なっております。

その他、同協議会内の相談支援ネットワークの研修会に参加し、よりよい計画相談支援実施のため、情報・意見交換等を行いました

(4) 在宅重症心身障害児者訪問

平成 28 年 5 月に重心訪問実施の依頼を受け、訪問指導の必要のある障害児者を市町村と協議のうえ決定し、当法人職員が対象者とその家族に対して、療育上必要な助言・指導を行いました。今年度の派遣回数は医師による訪問が 2 件、リハビリ職員による訪問が 4 件、相談員による訪問が 3 件、計 9 件の訪問を実施しました。

放課後等デイサービス「きゃんばす」

1 利用者の状況について

8 月開所時に小田原市在住利用者 15 名、南足柄市在住利用者 1 名、計 16 名からスタートし、その後 9 月に小田原市在住利用者 2 名、箱根町在住利用者 1 名の新規登録がありました。また、2 月に大井町在住利用者 1 名と南足柄市在住利用者 1 名の新規登録があり、平成 29 年 3 月末現在の登録利用者は 21 名となっています。

2 個別支援計画の充実

6 ヶ月毎に利用者本人、ご家族と面談を実施し意向と事業所との意見交換を行いました。また、関連機関と連携をとり情報共有に努め、障害児の発達を支援する

上で適切な支援内容の検討を行い、個別計画の計画、実施、評価を行いました。

3、日中活動の充実

利用者の発達段階、障害特性に合わせた活動を実施しました。

- ・プール、水遊び 6日実施 延べ参加利用者数：28名
- ・カキ氷 3日実施 延べ参加利用者数：10名
- ・クリスマス会 3日実施 延べ参加利用者数：12名
- ・スポーツ活動 25回実施 延べ参加利用者数：110名
- ・制作 80回実施 延べ参加利用者数：352名
- ・料理活動 5回実施 延べ参加利用者数：22名
- ・個別課題活動 44回実施 延べ参加利用者数：194名

4、放課後等デイサービス「きゃんばす」利用実績

上半期

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数					20日	22日
延べ利用者数					74人	77人
内、放デイ利用者数					60人	63人
利用者平均日中一時含む					3.7人	3.6人
放デイ登録者数					13人	16人
日中一時登録者					3人	3人

下半期

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	21日	20日	21日	19日	20日	23日	計166日
延べ利用者数	87人	68人	105人	92人	107人	118人	計728人
内、放デイ利用者数	73人	58人	90人	78人	94人	103人	計619人
利用者平均（日中一時含む）	4.1人	2.9人	5.0人	4.8人	5.4人	5.1人	平均4.38人
放デイ登録者数	16人	16人	16人	16人	18人	18人	計21名
日中一時登録者	3人	3人	3人	3人	3人	3人	

各 部 門 共 通

1 委員会の開催状況

委 員 会	開催回数	検 討 内 容
経営会議	22回	財務・事業の基本方針等重要事項審議
運営委員会	21回	経営会議報告、提案・改善事項等の審議
衛生委員会	12回	職員の安全、衛生に関する情報を把握し対応を検討する
感染対策委員会	12回	感染の予防対応に関して検討する
褥瘡対策委員会	12回	褥瘡の予防対応に関して検討する
給食委員会	12回	食事、栄養関係の全体での報告、検討
防災対策委員会	12回	防災管理、防災訓練に関して検討する
研修委員会	11回	研修全体の計画実行
リスクマネジメント委員会	12回	事故等に関する対応対策を評価する
人権擁護委員会	7回	施設利用者の人権擁護に関すること
薬事委員会	12回	医薬品に関する事案の検討、確認。
広報委員会	1回	広報紙、掲示板の活用検討

2 研修実施状況

(1) 法人内研修（515名参加）

摂食指導研修（毎月1回実施）	171名
新任職員研修（5月）	13名
医薬品、医療機器取り扱い研修（6月）	23名
危険予知訓練（6月から4回実施）	56名
腰痛対策研修（6月から2回実施）	34名
おむつのあて方講習（7月・2回）	32名
感染症対策研修（8月）	17名
褥瘡対策研修（9月）	18名
虐待防止研修（9月から4回実施）	95名
感染症対策研修（11月）	25名
トランス研修（2月）	14名
医療安全研修（3月）	17名

(2) 外部研修参加状況 (47名参加)

神奈川県重症心身障害児者協議会各分会	21名
咀嚼・嚥下機能の評価と口腔ケアの実践講座	1名
特定給食施設等講習会	1名
福祉有償運送運転者講習会	1名
相談支援等ネットワーク形成事業研修会	7名
ケアマネジメント・スキルアップ研修	1名
安全運転管理者講習会	1名
障害福祉サービス地域ネットワーク強化事業研修会	1名
国際医療機器展	3名
社会福祉法人制度改革に向けた研修会	2名
相談支援専門員研修	1名
摂食機能発達支援研修	1名
全身性ガイドヘルパー養成講座	1名
看護教育研修	1名
神奈川県サービス管理責任者研修	2名
差別解消法と社会障壁除去研修	1名
地域保健活動推進研修	1名

(3) 県外で開催された学会・研修会等への参加状況 (15名参加)

重症児医療・療育基礎講習会 (東京)	1名
日本重症心身障害福祉協会全国施設協議会 (大阪)	1名
日本小児外科学会学術集会 (福岡)	1名
相談支援従事者指導者養成研修 (埼玉)	1名
重症児者・肢体不自由児等講習会 (東京)	1名
重症心身障害者の生活を支える作業療法フォーラム (岡山)	1名
産業医学研修会 (栃木)	1名
全国社会福祉法人経営者大会 (熊本)	1名
サービス管理責任者指導者養成研修 (埼玉)	1名
重心施設栄養士研修会 (大阪)	1名
重症心身障害療育学術集会 (熊本)	2名
重症心身障害理学療法研究会セミナー (大阪)	1名
重症心身障害看護管理研究会 (東京)	1名
重心施設施設管理研究会 (大阪)	1名

3 食事の提供と栄養管理

(1) 給食管理業務

利用者及び職員の健康増進と、嗜好や季節感に配慮した食事提供に努めました。

- ア 月1回の行事食・お誕生日ケーキでは毎月のテーマに沿った内容を検討し、イベント性のあるメニューを考案しました。
- イ 季節ごとに旬の食材を取り入れ、季節の感じられる食事提供に努めました。
- ウ 毎月、アンケートへの記載内容について給食委員会で公表し、意見や要望については委員会メンバーや委託給食会社と対策を検討しました。
- エ 医師・管理栄養士の検食簿の記録も反映し、見直しが必要な献立や調理方法等については検討を行いました。

(2) 施設設備・衛生管理業務

衛生管理の徹底を図り、安心・安全な食事提供に努めました。

- ア 定例の厨房内環境調査により、厨房の衛生状態について検査をしました（6月・12月）
- イ ヒヤリ・ハット（32件）を受け、当該者や責任者と再発防止に向けた原因分析と対策の検討を行いました。

(3) 栄養管理業務

他職種との連携により、適切な栄養評価および管理を行い、利用者の入院時食事療養の推進に努めました。

- ア 入居者の栄養ケア計画書を作成し、個別支援面談においてご家族へ栄養管理計画の説明をしました。（3月）
- イ 入居者の栄養スクリーニングと栄養管理計画書を毎月見直し、作成しました。
- ウ 栄養や食形態などについて、他職種と適宜カンファレンス・打ち合せ等を行い、入居者個人の健康状態や嚥下機能に応じた食事を検討しました。

4 事故、ヒヤリ・ハットの状況

平成28年度は、事故48件、ヒヤリ・ハット146件ありました。

・事故

誤薬、抜薬、骨折、カニューレ自己抜去 吸入忘れ、転倒、爪切り時の出血、

車両の接触事故、私物破損など。

・ヒヤリ・ハット

ベッド柵（柵の上げ忘れ、バックルの閉め忘れ）

ベッド布団上の忘れ物（植札のタグ、ボールペン、点滴ルートキャップ、手袋等）

落葉、遅葉、配葉間違い、葉の空袋が落ちていた

内出血（自傷、転倒等）

エレベーターでの一人での乗車

食器の蓋の破損

利用者同士のトラブル

ランドリー異物混入（手袋等）

食事に髪の毛、虫、ビニール片が混入

5 防災訓練

次のとおり防災訓練を実施しました。

日 時	部 署	訓練内容
4月 4日 18日	重心施設 デイサービス	部署別の避難訓練
5月 2日	重心施設	夜間想定 of 避難訓練
6月 6日	重心施設	夜間想定 of 避難訓練
7月 4日	新採用職員	消火訓練・備蓄確認
7月 20日	全体	*総合防災訓練 ・炊出し訓練
8月 1日 23日	重心施設 デイサービス	部署別の避難訓練
8月30～ 9月5日	全体	通報連絡 ・職員安否確認訓練
9月 5日 21日	重心施設 デイサービス	部署別の避難訓練 日中・送迎時想定
10月12日 31日	デイ・放課後デイ 重心施設	部署別の避難訓練
11月 7日	全体	総合防災訓練
11月21日	採用職員、防災委員	消火訓練
12月 5日	各部署	部署別の避難訓練 日中・送迎時想定
1月 4日 20日 24日	重心施設 デイ・放課後デイ	部署別の避難訓練 日中・送迎時想定

2月 6日	重心施設	夜間想定避難訓練
3月 6日 23日	重心施設 デイ・放課後デイ	地震想定避難訓練

* 総合防災訓練は、内閣総理大臣の東海地震警戒宣言の発令を受け、防災対策会議招集訓練・地震想定訓練（避難・消防署への通報）などを行いました

6 実習生受け入れ状況（18名）

- ・大原学園 大原医療秘書福祉専門学校（保育士） 1名
- ・鶴見大学短期大学部（保育士） 1名
- ・小田原短期大学（保育士） 1名
- ・鎌倉女子大学（保育士） 1名
- ・神奈川社会福祉専門学校（介護福祉士） 1名
- ・YMCA 健康福祉専門学校（保育士） 1名
- ・国際医療福祉大学（作業療法士） 12名

7 ボランティア受け入れ状況（402名）

- ・音楽や紙芝居などの余暇支援 延べ37名
- ・歌や絵本読みなどの個別支援 延べ72名
- ・車椅子清掃 延べ41名
- ・衣類補修 延べ41名
- ・ピアノ演奏 延べ73名
- ・陶芸 延べ48名
- ・秋祭り 延べ40名
- ・デイ活動補助 延べ34名
- ・大正琴演奏 5名
- ・トーンチャイム演奏 11名

8 見学者受け入れ状況（33名）

- ・小田原養護学校 17名
- ・湘南きららポラリス 1名
- ・南足柄中学校 1名
- ・国際医療福祉大学 1名
- ・訪問リハビリ花 1名
- ・はんなさわらび療育園 1名
- ・四天王寺和らぎ苑 1名
- ・湯河原町ボランティア協議会 10名